

藩

施井政監

徳川慶勝

藩ヲ廢シ縣ト為ス

池田章政

# 最後の殿様

— 廃藩置県から府県制へ —

令和2年度第3回企画展

池田慶徳

任 沖繩縣令兼判事

毛利元徳

山内豊範

伊達宗城

県

令和3年 1月9日 土 — 2月28日 日

開催時間 >> 午前9時15分—午後5時

期間中無休・入場無料

令和2年度第3回企画展

# 最後の殿様 — 廃藩置県から府県制へ —

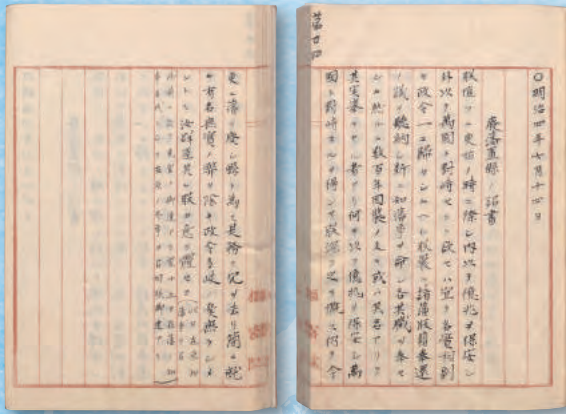
松平容保儀其藩へ永預被仰付置候處今般松平斗南藩

第一條 地方ヲ畫シテ府縣ノ下郡區町村トス

明治4年(1871)、藩を廃止し、近代的な中央集権国家の誕生を告げる「廃藩置県」が断行されました。廃藩という大きな変革によって新時代の幕開けに直面した全国の旧藩主は、新たな人生を歩むことを余儀なくされました。

令和3年(2021)は、この廃藩置県から150年目にあたります。本展では、明治維新を経て、新しい時代への転換を象徴する大プロジェクトであった廃藩という激動のさなかで揺れ動く全国の府県の様子を描きます。さらに、廃藩に翻弄されながらも明治を生き抜いていく各地の「最後の殿様」たちの姿に迫ります。

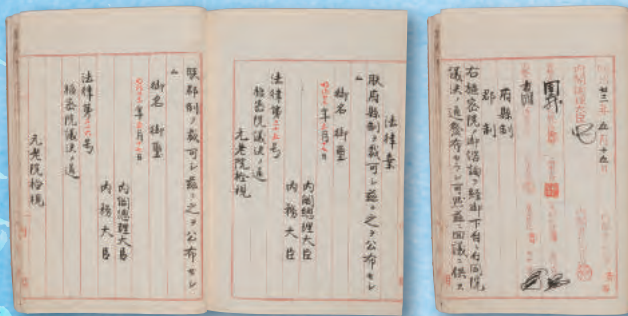
## 廃藩置県の詔書



明治維新を経て、中央集権化をめざす明治政府は、明治4年(1871)7月14日、廃藩置県に踏み切りました。その後、同年11月に、江戸時代には約300に分かれていた藩は、3府72県へと統合されました。

画像の資料は、朝廷より知藩事に下された廃藩置県の詔書を記録したものです。

## 府県制と郡制の公布



明治23年(1890)5月17日、府県制と郡制が公布されました。府県制では、廃藩置県以降も統廃合が進められた府県の区域を確定するとともに、政府が任命する知事のもとに公選議会である府県会を整備することが目的とされました。その後、若干の境界の変更を経て、現在の都道府県に至る区域が形成されていきます。画像の資料は、府県制と郡制の公布に関する閣議書です。

## 宮中顧問官侯爵鍋島直大 旭日桐花大綬章授賜の件



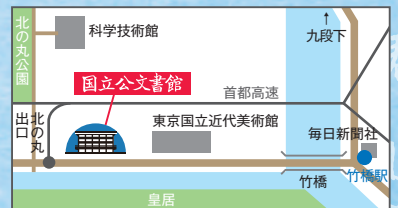
明治4年(1871)の廃藩置県の後、旧藩主たちは、様々な人生を歩むこととなります。その一人である佐賀藩最後の藩主鍋島直大(1846~1921)は、明治17年の華族令で侯爵となり、宮内省式部長、宮中顧問官等を務めました。画像の資料は大正10年(1921)、直大の死去に際して、勲一等旭日桐花大綬章を与えることに関する文書です。

<http://www.archives.go.jp/>



@JPNatArchives

@JPNatArchives



独立行政法人  
**国立公文書館**  
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園3-2  
TEL: 03-3214-0621  
アクセス▶東京メトロ東西線竹橋駅下車[1b出口] 徒歩5分